

「地（知）の拠点大学」概要

平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」において、富山大学を申請校とし、本学を含む県内高等教育機関を参加校として申請した事業が採択されました。本事業は、オール富山の連携体制で実施する「とやま全域が生み出す地方創生—未来の地域リーダーの育成—」の一環として実施するもので、本学としては富山県内の私立大学・短期大学を代表する形で重要な役割を担って、全力で協働・協力し、全体の目標達成に貢献する決意です。

併せて本学が申請していた事業「**地域課題探求型学習を核としたとやま地域創生人材育成プログラム**」（平成31年度までの5年間の事業計画）が「COC+参加校において、地方創生の取組を一層推進するため、申請に併せて事業協働機関として取り組む全学的なカリキュラムの改革案を提出し、特に優れた取組として認められた大学等」8校(国立2、公立3、私立3校)の一つとして、平成27年度「地(知)の拠点大学」の認定を受けました。

本学の事業の特徴は、以下に記すとおりです。

- (1) 県内出身学生の割合が高く、現在でも地域密着性の高い大学であるが、地元就職率の更なる向上とともに、より地域定着性の高い、地域のリーダーとなり得る学生を多く輩出するため、地域課題を探求する意欲の高い人材を養成するための体系的な「とやま地域創生人材育成プログラム」を構築する。
- (2) このプログラムの中核は、地域課題探求への動機付けから地域課題解決型卒業研究に至る、4段階の地域課題探求プロセスによる課題解決力の育成を図る。各地方自治体の課題を学ぶ新しい科目等も開講し、特に卒業研究では7割以上を地域課題解決型テーマで実施することを目標とする。
- (3) COC+事業に参加する県内大学の学生が協働で学ぶ「地元学」の講座や協働演習・インターンシップなどの新しい「とやま創生協働カリキュラム」の開発を行い、実施する。実施に当たっては事業協働機関の協力を得つつ、プログラム実施による能力特性評価テストも導入して、成果を検証しながら、地域定着性の強い人材の育成を図ってゆく。

地域課題探求型学習を核とした とやま地域創生人材育成プログラム

富山大学

地域課題解決プラットフォーム

教育プログラム開発委員会

富山国際大学

地域連携推進委員会

地域志向カリキュラム改革事業部会

地元就職率向上対策部会

協働開発

とやま創生協働カリキュラム

<講義>

「地元学」—企業経営者講座、県内企業講座、富山魅力発見講座

<演習>

「地域活性化協働演習」—2高等教育機関以上の学生が地域において協働で行う演習

<インターンシップ>

「課題解決型インターンシップ、文理融合型インターンシップ、長期インターンシップ、県内企業海外拠点インターンシップ」

とやま地域創生人材育成プログラム

1. 課題解決学習

(1) 4段階の地域探求プロセスによる課題解決型人材育成プログラム

Step1: 地域課題探求への動機づけ

Step2: 地域課題発見への意識づけ

Step3: 地域課題発見・解決への実践演習

Step4: 地域課題解決型テーマによる卒業研究

(2) 学生の自主的活動を通じた課題解決力の向上

(3) 国内・国外インターンシップ

2. 地元学学習

3. 情報技術学習

4. 社会人基礎力学習

地域課題探求・解決型人材の養成

人材輩出

富山県全15市町村(事業協働地域)